

621) クルマ

お盆休みが近くなって来たので、休みに入る前に処方箋を貰いに医者へ行った。帰りにふと思い出したのは、ちょっと遠いスーパーで、オイラの好きなインスタント・コーヒーが大安売りされているという広告だった。そこでまず薬局へ行って処方箋を預けて、処方してもらっている間にクルマを出してスーパーに行って、コーヒーを買って、そのまま薬局の駐車場に車を入れて、薬を貰って帰ってくる。これが一方通行やら、近道やら何やらを、一番スマートにクリアーできる方法であると確信した。

年金支給日間近かで、財布の中のゼニコは底をついてはいるけれどもインスタント・コーヒーは5袋も買ってしまった。このくらい買わないとガソリン代が出ない。それにしても年金支給日まで残りの金で暮らせるかな?。ちょっと気になったが、そのときはそのとき、缶詰でも空けて冷凍食品で食い繋げば何んとかなるか。覚悟を決めて、ついいい調子になって薬局の駐車場に車を入れたが、お薬手帳を忘れて来たことに気がついた。これがないといくらかお金を取られるらしい。折角いい場所に駐車できたので、お薬手帳は歩いて家まで取りに行くことにした。往復せいぜい5~6分の距離である。さっきより雲が出てきたせいか、やや涼しくなっているから、薬を貰ってから車で帰れば、その方が荷物の都合もいいかなと思ったからである。財布の中のお金はもう一万円ぎりぎりだったからそれにしても薬代が気になる。しかし薬代はたったの1,500円程度だったからほっとして、いそいそと家路を急いだ。家に帰ってから食事を済ませて、友達の所にバッチャんに貰った野菜を届けに行く約束になっていたことを思い出した。

そして駐車場まで来ると車がない。一瞬盗まれたかと疑った。だがふと気がついた。車はそう薬局に忘れて来ちゃったんだ。警察に電話しないでよかった。大騒ぎになるところだった。よかった。よかった。まだボケてなかった。